科目番号

令和5年度 年間指導計画

D人間15

教 科	家庭	科 目	子どもの発達と保育	単位数	3	学年・学科	3学年・D科
教科書	教育図書「子どもの発達と保育−育つ・育てる・育ち合う−」	副教材	教育図書「子どもの発達と保育−育つ・育てる・育ち合う−ワークノート」				

学習目標	○子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に付けます。
学習方法	○視聴覚教材の活用、作品製作、調理実習を通して、子どもの発達や保育に関する知識を実践的・体験的に学習します。 ○保育人形を使用した実習を通して、基本的な保育技術を身に付けます。 ○授業課題に対して自ら考え創造する力を育成するため、課題レポートに取り組みます。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合 考査	割合 考査以外
	a	関心・意欲・態度	子どもの発達や子育て支援につて関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	前期中間	25 %	5	20
				前 期 末	25 %	5	20
				後期中間	25 %	5	20
				後 期 末	25 %	5	20
	b	思考・判断・表現	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	前期中間	25 %	15	10
				前 期 末	25 %	15	10
				後期中間	25 %	15	10
				後 期 末	25 %	15	10
	c	技能	子どもと触れ合ったり、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	前期中間	25 %	10	15
				前 期 末	25 %	10	15
				後期中間	25 %	10	15
				後 期 末	25 %	10	15
	d	知識・理解	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。	前期中間	25 %	15	10
				前 期 末	25 %	15	10
				後期中間	25 %	15	10
				後 期 末	25 %	15	10

学期	単元名（題材）	学習内容（小単元）	評価の観点 a	b	c	d	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第1章 子どもの発達の特性	・人の生涯発達について、特に乳幼児期の心身の発達は著しく人間形成の基盤となることについて学習します。	○	○		○	a：乳幼児の心身の発達に関心を持ち意欲的に学習する。 b：子どもの発達過程には、乳幼児保育が重要であることに気づく。 d：子供の発達過程やそれを支える環境について理解している。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査
	第2章 子どもの発達の過程	・誕生から幼児期までの子どもの身体発育、生理的特徴、人間関係の発達、心の発達について学習します。	○	○	○	○	a：子どもの発達過程について関心を持ちながら学習を進めている。 b：子どもの発達と発育について理解し、発達段階ごとに説明できる。 c：子どもの成長に応じた児童文化財を製作することができる。 d：乳幼児期の発達と人間関係の発達について理解している。	
前期末	第3章 子どもの生活	・子どもの健康と生活(食生活・衣生活)について学習します。	○	○	○	○	a：子どもの食生活、衣生活について大人との違いに目を向け積極的に学習している。 b：子どもに適した衣類や食事について考え、発表できる。 c：子どもの食事づくりや、おむつの扱い方などの技術を身に付ける。 d：子どもの食生活や衣生活について知識を深め理解している。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査
後期中間	第3章 子どもの生活	・子どもの遊びや健康管理について学習します。	○	○	○	○	a：子どもの遊びの重要性や健康管理について意欲的に学習を進めている。 b：子どもにとって必要な児童文化財について考え発表できる。 c：児童文化財を作成し、遊ぶことができる。 d：子どもの健康的な生活を保障するための保育者の役割を理解している。	

後期末	第4章 子どもの保育 第5章 子どもの福祉と子育て支援	・保育の意義と目標・保育の方法を学習します。 ・子どもの福祉について歴史的な経緯を知るとともに、児童福祉に関する法律・施設について学習します。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：保育の意義や子どもの福祉の理念につて意欲的に学習しようとしている。 b：福祉の理念が様々な制度にも生かされていることを認識し、よりよい子育て環境につて考え表現できる。 c：子どもの福祉に関わる施設について情報収集ができる。 d：子どもの保育の意義やよりよい社会の在り方について知識を深め理解している。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・定期考査